



2023年11月10日

各 位

会社名 株式会社 チノール
 代表者名 代表取締役社長執行役員 豊田三喜男
 (コード番号 6850 東証プライム)
 問合せ先 常務執行役員経営管理本部長 大森一正
 (TEL 03-3956-2115)

業績予想（第2四半期）と実績の差異 及び 業績予想（通期）の修正、 剰余金の配当（中間配当）及び 期末配当予想の修正に関するお知らせ

2023年9月11日に公表いたしました2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。併せて、最近の業績動向を踏まえ、2024年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

また、2023年11月10日開催の取締役会において、2023年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）につきまして1株当たり 20 円の配当を行うことを決議するとともに、通期の連結業績予想の修正に伴い2024年3月期の期末配当予想につきましても修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正

(1) 2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値の差異 (2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,600	650	800	460	54.22
実績値(B)	12,000	914	1,064	618	72.85
増減額(B-A)	400	264	264	158	—
増減率(%)	3.5	40.6	33.1	34.4	—
(ご参考)前年同期実績 (2023年3月期第2四半期)	10,273	538	770	446	52.72

(2) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	2,150	2,350	1,550	182.71
今回修正予想(B)	26,400	2,420	2,620	1,710	201.42
増減額(B-A)	400	270	270	160	—
増減率(%)	1.5	12.6	11.5	10.3	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	23,793	2,018	2,294	1,536	181.22

(3) 差異発生及び修正の理由

2024年3月期第2四半期累計期間の実績は、売上高につきましては今期半導体をはじめとする部材の供給不足が一部を除いて解消され前期に生産が滞っていた製品の生産・出荷が進んだこと及び為替が円安となったことにより、また利益につきましては売上高の増加に加え販管費の抑制に努めた結果、ともに前回発表予想を上回りました。

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績の進捗と下期についても引き続き主要顧客の脱炭素社会に向けての堅調な需要が継続する見通しであることを踏まえ、2023年5月12日に公表しました業績予想を修正いたします。

2. 剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正(2024年3月期)

(1) 配当の内容(中間配当)

	決定額	直近の配当予想 (2023年9月11日公表)	前期実績 (2023年3月期中間)
基準日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
1株当たりの配当金	20円00銭	20円00銭	0円00銭
配当金の総額	169百万円	—	—
効力発生日	2023年12月8日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(2) 配当予想修正の内容

基準日	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	20円00銭	35円00銭	55円00銭
今回修正予想	—	40円00銭	60円00銭
当期実績(2024年3月期)	20円00銭	—	—
前期実績(2023年3月期)	0円00銭	52円00銭	52円00銭

(3) 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと考え、当該事業年度の業績及び将来の事業展開を考慮して必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向 30%を目安に安定配当を継続することを基本方針としております。

上記の基本方針に基づき通期の連結業績予想の修正を踏まえた結果、前回発表(2023年9月11日公表)の期末配当予想額及び年間合計配当予想額を上記の通り修正いたします。

この結果、1株当たり年間配当金は60円となり前回予想の55円から5円の増配となります。

(注)本資料における業績予想は、発表日現在において当社が入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上